

伝える

「アサーション」



相手に思いを届ける

ボランティア活動等で地域の方々が、子どもたちと一緒に活動をする際に、子どもたちとの関わりをより円滑にする方法として、「アサーション」の考え方が活用できます。

「アサーション」は、自分も相手も大切にする自己表現のことです。言いたいことがうまく言えなかったり、言い方が分からなかったりする場面で活用することができます。
相手に自分の思いを上手に伝えることができ、人間関係が深まります。

地域の方： 子どもと接するのは、結構難しいですね。仕事的时候は、「こうして、ああして」と言うことが多いんです。子どもたちにも、つい指示的になってしまうかもしれないなあ。

教師： あまり強く言うと、子どもたちにとっては、押し付けに聞こえるかもしれませんね。でも、子どもたちの好きなようにさせて、アドバイスしたいことも我慢して黙っていても、子どものやる気は出ませんよね。

地域の方： 私の思いをうまく伝えながら、子どもたちと気持ちよく活動したいのですが…。

教師： 「どうしたらいいか分からないかな？ こうやると、きっと早く終わるよ」というように、子どものことを理解してあげた上で、言いたいことを伝えてみてはどうでしょう。

地域の方： 確かにそういう言い方だと、うまく伝えられますね。

アサーティブ（アサーションを生かした）な表現の例

「この作業は面倒だね。でも大事な手順なので丁寧にやってほしいんだ」
「分かってくれてありがとう。完成が楽しみだね」